

資格検定NEWS



将来を見据えた資格への挑戦

- **機械科**
 - 技能検定 (普通旋盤3級)
 - 技能検定 (鋳造3級)
 - 技能検定 (機械検査3級)
 - 技能検定 (機械系保全3級)
- **電子機械科**
 - 技能検定 (電気系保全3級)
 - 技能検定 (シーケンス制御3級)
- **電気科**
 - 第二種電気工事士
 - 第一種電気工事士
 - 電気通信設備工事担任者

- **工業化学科**
 - 危険物取扱者乙種全類取得
 - 危険物取扱者甲種
 - ボイラー技士2級
- **ファッションデザイン科**
 - レタリング検定
 - トレース検定
 - 織物設計検定
 - 染色検定

資格検定取得の記録を残そう

平成28年度が始まってから、はや1ヶ月が過ぎました。1年生の皆さんは倉工の学校生活には馴染むことができているですか。2, 3年生は新しいクラスメイトと科目の勉強に戸惑いはありませんか。

少し落ち着いてところで、資格検定について考えてみたいと思います。資格検定の受験は科目で取り組み、喘息全員受験の場合と、希望する生徒が任意で受験する場合があります。いずれの場合にも、受験料が掛かり、時間を割いて準備をするわけですから、合格ラインに達せずに終わった場合は、経験は残りますが、資格は残りません。結果として60%が合格ラインで、59%の得点であった場合には「不合格」で、全く白紙の0%と扱いは一緒です。

資格検定は基本的に、人数を制限するための入学試験とは異なり、必要なレベルを会得するまで頑張れば、受験者全員100%合格ということもあり得るものです。このことから、受験するからには、合格できるレベルまできちんと勉

強することが必要です。「他人の出来不出来」に影響を受けることなく、「自分がやったかどうか」が問われます。資格検定は自分をPRする強力な材料であり、ジュニアマイスター顕彰や職業教育技術顕彰、工業技術顕彰の対象になったり、増加単位として、正規の授業単位と同等に扱われるなど種々のメリットも有ります。

では、どのような検定を受けるべきかといえば、それは皆さん一人ひとりのライフプランを考えてみるのが一番です。「就きたい仕事に必要な検定」、「有資格者のみが従事できる業務」、「直接の必要性はないけれども、取り組み、取得することによって、その姿勢を評価してもらう検定」など、自分で意識して取り組んでください。面接でその意義と成果をきちんと説明できることが必要です。取り組みの記録を残して、有意義な高校生活を送りましょう。

